

## 東京たまエコセメント刻印の製品を、都心・神奈川の工事現場で目撃

日の出の森・支える会 K.I

エコセメント製品が、東京都心や神奈川県道路工事現場などで使用されていました。三多摩地域以外での使用が当たり前になっているようです。

東京たまエコセメントを100%使用したコンクリート製品（二次製品）は、道路の縁石ブロックが代表格です。東京都コンクリート製品協同組合の資料「東京たまエコセメントを100%したエコセメント製品」の「認証制度合格工場一覧」によると、コンクリート製品の製造工場は関東の一都六県、二十数箇所に存在するとのことですが、この一覧表は情報が古く、すでに倒産してなくなった企業や工場も含まれています。コンクリート製品には「エコタロー」と「製造工場名」、「製造年月日（と思われる）」の刻印があるので見分けがつかます。私が知っている使用現場と目撃時期をすべて（①から④まで）、一部は写真も交えながら解説します。



### ■東京都

①台東区 寿 2-10-11 浅草道路シンボル通り整備工事（かっぱ橋道具街から南東に200メートルほど） 2015年12月



東京メトロ銀座線田原町駅の2番出口の道路と歩道を隔てる縁石でエコセメント製品を初めて目撃。簡易線量計を置いて測定したところ、参考値ですが0.09 $\mu$ Sv/時でした。「林屋コンクリート工業朝霞 111」の刻印がありました。

②目黒区 上目黒 3-4-1 中目黒駅交差点 2018年12月

林屋コンクリート工業朝霞工場製の縁石と街渠です。街渠（右写真）は2.5メートルくらいあり、かなりの大きさです。近くにはバス停があり、人通りもかなり多い地域での工事です。東京スーパーエコプラントで汚染土壌の「浄化」を担当する成友興業が道路工事を受注していました。



③江東区 海の森 2-4 中防内3号線 2019年6月

東京オリンピック2020海の森水上競技場の北側道路の縁石で「エコタロー」に遭遇しました。興建産業神奈川工場製。この東側の旧中央防波堤内側埋立処分場は五輪の馬術競技場で、南側には中央防波堤外側・新海面埋立処分場があります。



④渋谷区 渋谷 3-6-3 付近 六本木通り（都道412号線） 2020年秋  
信号待ちで、施工中の縁石の「エコタロー」の刻印に気付きました。

■神奈川県

⑤横浜市 都筑区佐江戸町 2135 付近 弁天前バス停近くの縁石 2020 年 3 月

⑥海老名市 泉 2-14-1 海老名ザ・レジデンス 2018 年 1 月



新築マンションの駐車場の出入口の歩道縁石の一部と車止めが「エコタロー」でした。「豊国コンクリート工業秦野工場」と「101 (旭建材工業・練馬)」の刻印がそれぞれありました。

⑦海老名市 上郷字堂場前 445 2020 年 5 月

焼肉きんぐ海老名上郷店、敷地境界縁石に「豊国コンクリート工業秦野工場」の刻印がありました。作業員はマスクもせずに屋外で切断作業をしており、粉じんが飛び散っていました。 切断の粉じん→



⑧寒川町 田端 1415-2 近くの圏央道の高架下 2020 年

「圏央道田端高架橋 1.34 キロポスト P12 内」橋脚の麓。圏央道建設に伴う周辺道路の形状変更工事の際に余った資材を保管しているようで、「エコタロー」刻印付きの縁石は 3 つありました。平成 25 年 12 月 11 日製造のようですが、製造元は刻印が不鮮明で読み取れませんでした。



⑨寒川町 田端 1591 近くの相模川堤防の上部 2021 年 6 月 1 日

国土交通省の相模出張所が発注した「R1 相模川左岸寒川樋管設置他土砂改良工事」で興建産業神奈川工場製のエコセメント製品が使われていました。国土開発工業という会社が工事を請け負っていました。



⑩綾瀬市 小園南 1-17-19 小園団地の歩道の点字ブロック 2018 年工事中に、パレットに「太平洋プレコン日の出工場」の刻印があるのを確認。エコセメント点字ブロックでは、唯一の目撃事例です。→



⑪綾瀬市 早川 677 綾瀬市役所南通りの縁石 2020 年春

⑫綾瀬市 早川 2724-6 ローソン綾瀬早川店前の歩道境界ブロック 2020 年 10 月 豊国コンクリート工業秦野工場製でした。



【おわりに】

「東京都建設局 道路工事情報」などを頼りに公共工事の現場をいくつか回れば、「エコタロー」を見つけられる日が来ると思います。

福島での原発事故後、東京都廃棄物埋立処分場内で最高 1.2  $\mu$  Sv/時の線量が計測され、私は場内でのオリンピック競技開催に疑問を持ちます。谷戸沢処分場での国体 2013 女子サッカー開催にショックを受ける一方、エコセメント工場や(災害)廃棄物焼却による大気汚染と健康被害との関係も知りました。そして、福島を除染業界の商談イベント等を見に行く中で、巧妙に見えにくくされた公害問題に気付いたのです。